

新しいデザインでリニューアル! Windows 11の新機能のBEST 6

1 中央に配置された「スタートメニュー」



Windows 10ではタスクバーのアイコンが左寄せでしたが、Windows 11では中央に配置される仕様になりました。スタートメニューも大きく変わり、よく使うアプリをピン留めしたり、最近使用したアプリやファイルをスタートメニューから開いたりすることが可能です。アイコンのデザインも大きく変更されています。

3 必要な情報をいち早く確認できる「ウィジェット」

Windows 11で新たに追加されたのが「ウィジェット」機能です。ニュースや天気予報、カレンダーなどをひとまとめにして表示できるうえ、タスクバーにあらかじめウィジェットのアイコンが配置されているので、クリックするだけで必要な情報にアクセスすることができます。ウィジェットは追加や削除が可能ですので、好みに合わせてカスタマイズしてみるとよいでしょう。



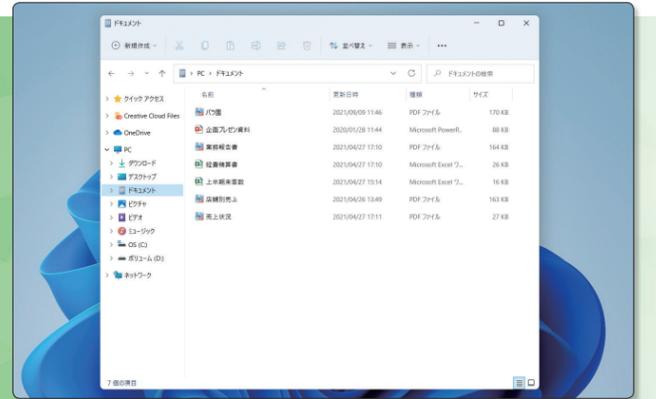
4 手軽にコミュニケーションが取れる「チャット」

Microsoft Teamsの機能が統合された「チャット」機能を利用することができます。タスクバーにアプリのアイコンが配置されているので、よりスムーズにコミュニケーションが図れます。テキストでのやり取りはもちろん、ビデオ通話も可能です。利用にはMicrosoftアカウントが必要ですが、アプリをインストールしなくても利用できるため便利です。



5 すっきりしたUIに変わった「エクスプローラー」

エクスプローラーではWindows 10で表示されていたリボンが廃止され、ツールバーのみの表示となりました。ファイルやフォルダーのコピーや貼り付け、共有、削除など、必要な機能をツールバーのアイコンをクリックするだけで利用できます。ウィンドウが角丸になっているのも特徴です。



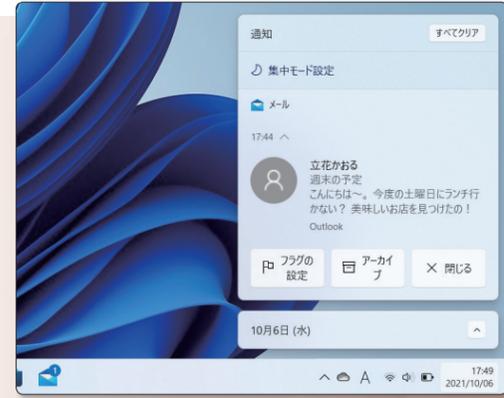
2 複数のウィンドウを整列する「スナップレイアウト」



ウィンドウのスナップ機能が強化され、複数のウィンドウを開いている場合でも、きれいに整列できるようになりました。レイアウトパターンは複数あるので、好みのレイアウトを選択することができます。ほかのウィンドウを見ながら作業したいときに重宝する機能です。

6 新着情報は「通知センター」で確認

Windows 10のアクションセンターは通知機能を集約した「通知センター」となり、上部に通知が表示され、最新の通知はもちろん、過去の通知も一覧表示されているので見逃す心配がありません。通知をクリックすればアプリが起動し、詳細を確認することができます。また、下部には今日の日付が表示されていますが、それをクリックすることで1か月表示に切り替えることも可能です。



あなたのパソコンや周辺機器は動作する!?

Windows 11で動作するかどうかの確認方法と Windows 10からの乗り換え案内

Windows 11を利用するためには、Windows 10からアップグレードする方法と、Windows 11対応のパソコンを購入する方法の2つがあります。ただし、Windows 11が動作可能なシステム要件を満たしていなければ利用できません。まずは、アップグレードが可能かどうか確認してみましょう。

Windows 11 へのアップグレードに必要なシステム要件

Windows 11をインストールできる基本要件として、Microsoftでは右のようなスペックを推奨しています。CPUやメモリの要件は多くのパソコンでクリアできていると思いますが、システムファームウェアとTPMはWindows 10にはなかったシステム要件なので、実際には3～4年前のパソコンでもWindows 11がインストールできない場合があります。手持ちのパソコンがWindows 11で動作するかどうかあらかじめ次の方法で確認してみてください。

CPU (プロセッサ)	1GHz 以上で 2 コア以上の 64 ビット互換プロセッサ または システム・オン・チップ (SoC)
メモリ	4GB 以上
ストレージ	64GB 以上
システムファームウェア	UEFI、セキュアブート対応
TPM	トラステッドプラットフォームモジュール (TPM) バージョン 2.0
グラフィックスカード	DirectX 12 以上 (WDDM 2.0 ドライバー)
ディスプレイ	対角サイズ 9 インチ以上 8 ビットカラー対応 高解像度 (720p) ディスプレイ
インターネット接続	あり

メーカーのWebサイトで確認する

手持ちのパソコンがWindows 11へのアップグレードに対応しているかどうかは、各メーカーのWebサイトからでも確認することができます。右図は、Dynabookが公表している、Windows 11へのアップグレードに対応予定の機種一覧です。このように、各メーカーでは、Windows 11へのアップグレード動作確認を行った製品や対応モデルなどの情報が公開されています。自身が持っているパソコンのメーカーのWebサイトにアクセスして確認してみましょう。



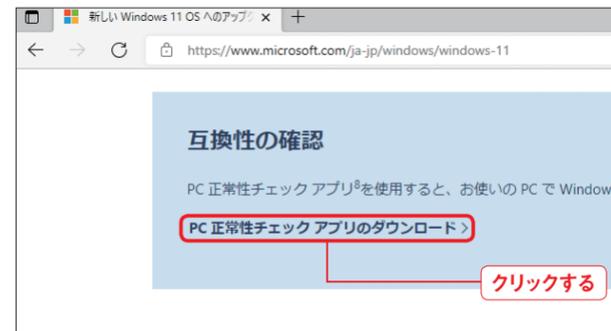
<https://dynabook.com/assistpc/osup/windows11/target/>



PC正常性チェックアプリでシステム要件を満たしているか確認する

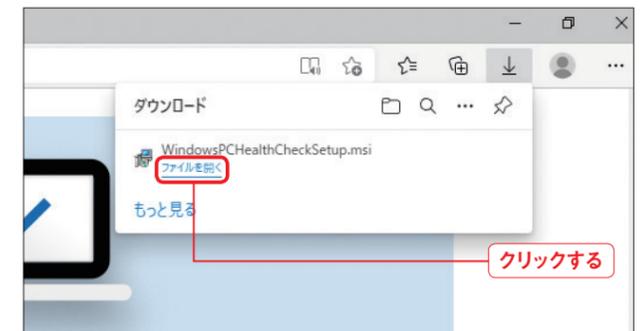
1 Microsoft の Web サイトを開く

Webブラウザで「<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11>」にアクセスし、画面を下方にスクロールして、「互換性の確認」の「PC正常性チェックアプリのダウンロード」をクリックします。



2 ダウンロードファイルを開く

PC正常性チェックアプリのインストーラーがダウンロードされるので、「ファイルを開く」をクリックします。



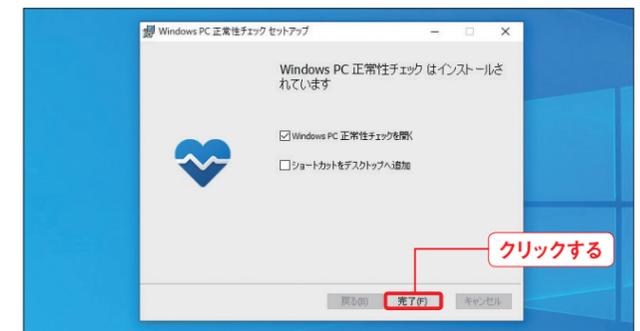
3 <インストール>をクリックする

契約内容を確認し、「使用許諾契約書に同意します」をクリックしてチェックを付け、<インストール>をクリックします。



4 インストールが完了する

インストールが完了すると下の画面が表示されます。「完了」をクリックします。



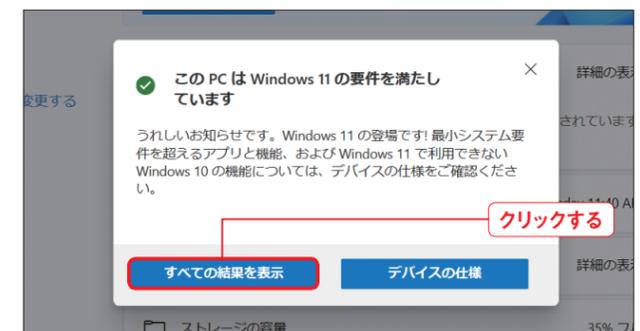
5 要件を確認する

手順4で「Windows PC正常性チェックを開く」にチェックを付けた場合はアプリが開きます。「今すぐチェック」をクリックします。



6 結果が表示される

結果が表示されます。要件を満たしていない場合は、「すべての結果を表示」をクリックすると、動作要件を満たしていない箇所を確認することができます。





Windows 11を 起動／終了しよう

▶ 起動

▶ 終了

Windows 11を利用するには、パソコンを起動して、設定したパスワードでサインインする必要があります。パソコンを終了する場合は、スタートメニューからシャットダウンして終了します。パソコンを一時的に停止したい場合は、スリープ状態にするとよいでしょう。

Windows 11 を起動する

1 パソコンの電源を入れる

電源ボタンを押して、パソコン本体の電源を入れます。



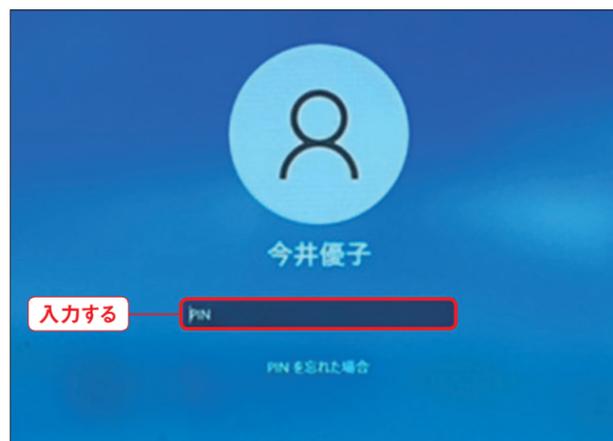
2 ロック画面をクリックする

ロック画面が表示されたら、画面をクリックします。



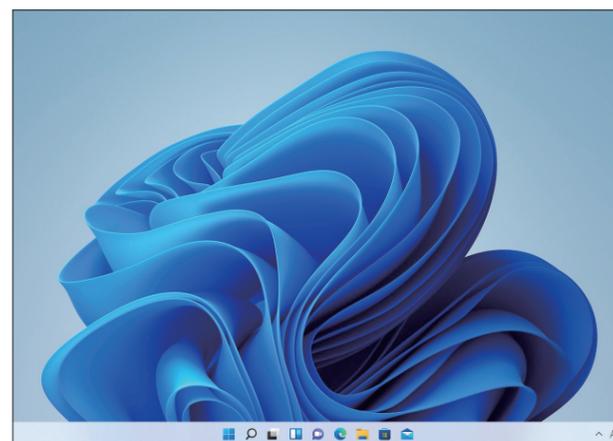
3 PINを入力する

ユーザー名が表示されます。PINを入力します。



4 デスクトップ画面が表示される

サインインが完了し、デスクトップ画面が表示されます。



Windows 11 を終了する

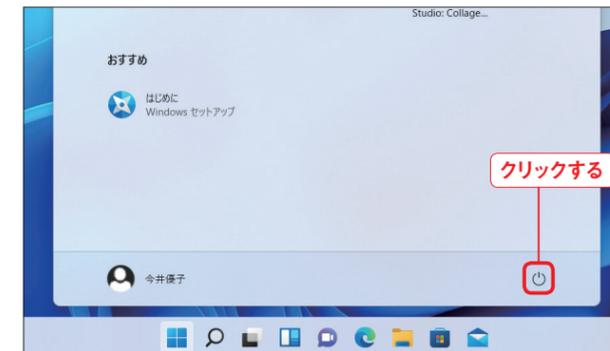
1 スタートメニューを開く

タスクバーの をクリックするか、 キーを押します。



2 電源をクリックする

スタートメニューが表示されるので、 をクリックします。



3 <シャットダウン>をクリックする

電源メニューの一覧から<シャットダウン>をクリックします。



4 パソコンが終了する

Windows 11が終了し、パソコンの電源がオフになります。

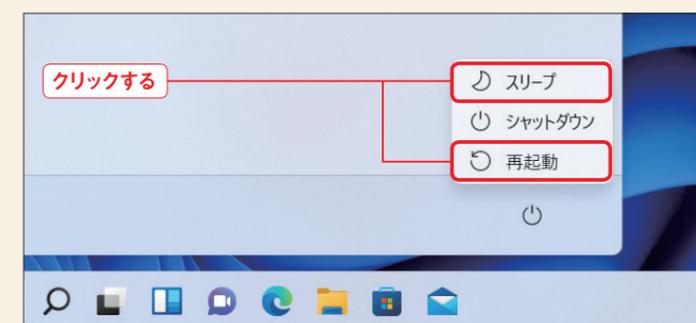


COLUMN

シャットダウン／スリープ／再起動の違い

Windows 11の電源メニューには、シャットダウンのほかにスリープと再起動があります。

- ・スリープ……画面がオフになり、一時的に停止状態になります。マウスやキーボードなどのデバイスを操作すると、スリープが解除されます。
- ・再起動……シャットダウンされたあと、自動的にパソコンが起動します。





スタートメニューの 使い方を知ろう

▶ スタートメニュー

▶ カスタマイズ

Windows 11ではスタートメニューが刷新されました。画面上部に使用頻度の高いアプリを配置したり、よく使う項目を表示させたりすることができます。使いやすいようにカスタマイズしてみましょう。

スタートメニューを開く

1 ■をクリックする

タスクバーの■をクリックします。



2 スタートメニューが表示される

スタートメニューが表示されます。



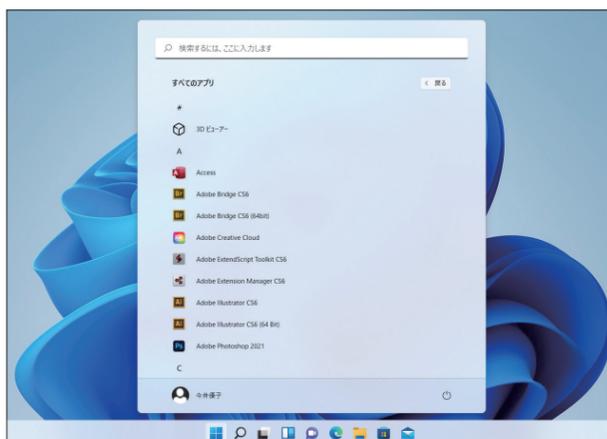
3 <すべてのアプリ>をクリックする

上部には使用頻度の高いアプリが表示されています。<すべてのアプリ>をクリックします。



4 すべてのアプリが表示される

パソコン内に入っているすべてのアプリが表示されます。



スタートメニューをカスタマイズする

1 「設定」画面を表示する

スタートメニューを表示し、<設定>をクリックします。



2 <個人用設定>をクリックする

左側に表示されるメニューから<個人用設定>をクリックします。



3 <スタート>をクリックする

<スタート>をクリックします。



4 表示方法を切り替える

各項目のオン/オフを切り替えて、スタートメニューに表示する情報を設定します。



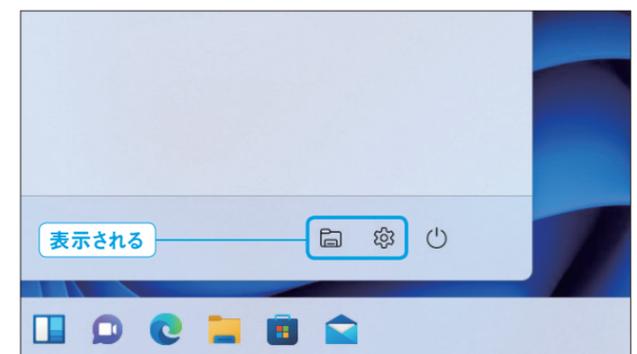
5 フォルダーを選択する

手順4の画面で<フォルダー>をクリックし、よく使う項目をオンにします。



6 スタートメニューに表示される

スタートメニューを開くと、手順5で設定した項目のアイコンが常に右下に表示されるようになります。





Webブラウザを起動しよう

- Webブラウザ
- Microsoft Edge

Windows 11に標準で搭載されているWebブラウザ「Microsoft Edge」を使って、インターネットを利用してみましょう。ここでは、Microsoft Edgeを起動/終了する方法と、画面構成について解説します。

Microsoft Edge を起動する

1 Edge をクリックする

タスクバーのEdgeアイコンをクリックします。



2 Microsoft Edge が起動する

Microsoft Edgeが起動します。



Microsoft Edge を終了する

1 X をクリックする

Microsoft Edgeの右上にあるXアイコンをクリックします。



2 すべてのタブを閉じる

複数のタブを開いている場合 (P.034参照) は、「すべてのタブを閉じますか?」と表示されるので、<すべて閉じる>をクリックすると、Microsoft Edgeが終了します。



Microsoft Edge の画面構成



1 タブ	開いているWebページのタブが表示されます。クリックすることで、アクティブなWebページを切り替えられます。
2 新規タブ	新しいタブが開きます。
3 戻る	1つ前のWebページに戻ります。
4 進む	戻る前のWebページに進みます。
5 更新	表示しているWebページを最新の情報に更新します。
6 ホーム	Microsoft Edgeを起動したときに表示される「スタートページ」(ホームページ)が表示されます。初期状態では表示されていない場合もあります (P.033参照)。
7 アドレスバー	表示しているWebページのURLが表示されます。URLを入力してWebページを表示できるほか、キーワードを入力してWebページを検索することもできます。
8 イマーシブリーダー	広告など不要な情報を排除し、画像とテキストのみを表示することで、Webページを読みやすくします (P.031参照)。音声での読み上げにも対応しています。なお、Webページによってはアイコンが表示されない場合もあります。
9 お気に入りに追加	Webページをお気に入り (P.036参照) に追加できます。
10 お気に入り	お気に入りの一覧を表示します。フォルダーの追加やお気に入りの検索など、お気に入りに関する操作が行えます。
11 コレクション	Webページのほか、Webページ内の文章や画像を保存したり、メモを付けたりすることができます。
12 アカウント	アカウントに関する各種設定が行えます。
13 ツール	Webページを印刷したり、設定したりすることができます。



チャットやビデオ会議をしよう

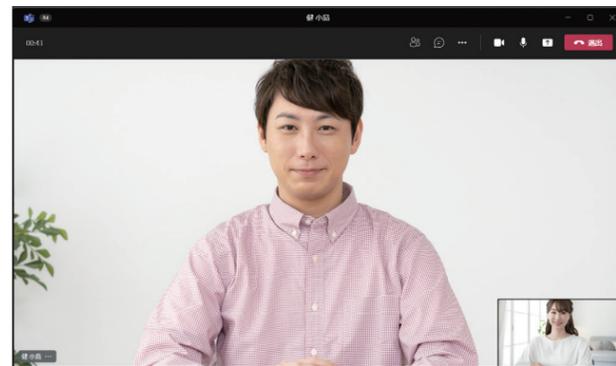
- ▶ チャット
- ▶ ビデオ会議

Windows 11では「チャット」機能がOSに組み込まれ、タスクバーに表示されるようになりました。アイコンをワンクリックするだけですばやくコミュニケーションを取ることができます。ここではチャットでできることや、利用開始の手順について見ていきましょう。

Windows 11 のチャットでできること

Windows 11で搭載された「チャット」は、Microsoft Teamsのチャット機能がOSに統合されたもので、利用にはMicrosoftアカウント（P.094参照）が必要です。チャットアイコンはタスクバーに表示されており、クリックするだけでチャットを起動できるので、すばやくコミュニケーションを取ることができます。テキス

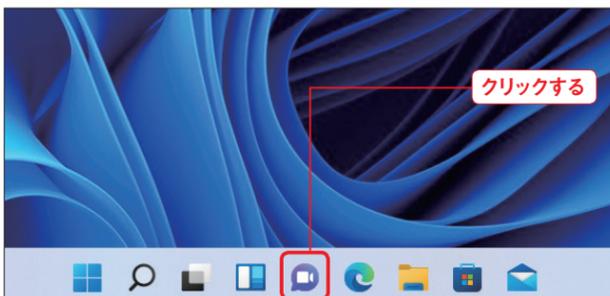
トベースでのやり取りはもちろん、ファイルを添付したり、ビデオ会議をしたりすることもできます。1対1だけでなく、複数のユーザーとやり取りすることができるので、友だちどうしの会話だけでなく、同じ部署やプロジェクトごとなど、共通の作業を進める際にも便利です。



チャットの利用を開始する

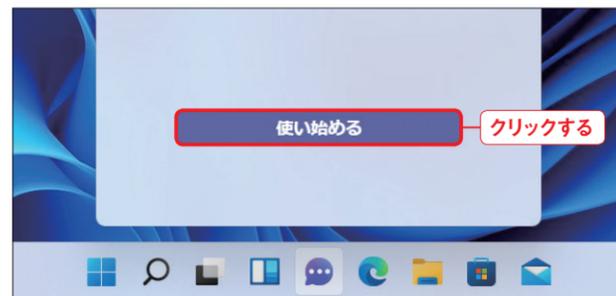
1 チャットを起動する

タスクバーでをクリックするか、**Win+C**キーを押してチャットを起動します。



2 <使い始める>をクリックする

<使い始める>をクリックします。



すでにMicrosoftアカウントが設定されている場合は、手順②のあとに<始めましょう>をクリックするだけで、チャットを始めることができます。Microsoftアカウントの作成方法はP.094を参照してください。

3 サインインする

「Teamsへようこそ」画面が表示されるので、<サインイン>をクリックします。



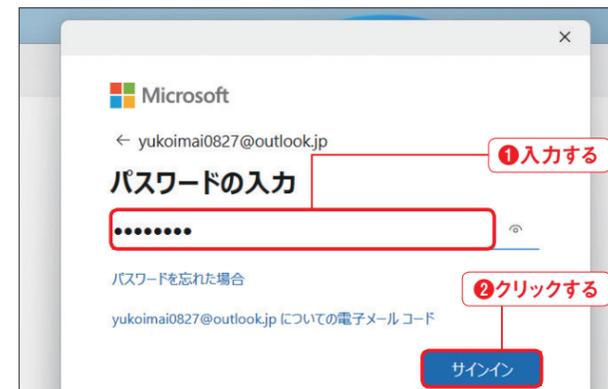
4 メールアドレスを入力する

Microsoftアカウント（P.094参照）のメールアドレスを入力し①、<次へ>をクリックします②。



5 パスワードを入力する

パスワードを入力し①、<サインイン>をクリックします②。



6 <次へ>をクリックする

Microsoftアカウントの使用に関する画面が表示されたら、<次へ>をクリックします。



7 チャットの設定をする

チャットで利用する名前を入力し①、<始めましょう>をクリックします②。



8 チャットが利用できるようになる

Microsoft Teamsの画面が表示され、チャットが利用できるようになります。✕をクリックしてアプリを終了します。



手順⑧で表示されるのはMicrosoft Teamsの画面です。「チャット」を起動したあとにMicrosoft Teamsが起動することがあるので、その場合は上記のように終了してください。



アプリをインストールしよう

▶ Microsoft Store

▶ インストール

<Microsoft Store>アプリにはさまざまなアプリが豊富に用意されています。アプリをインストールして、Windows 11をさらに便利に活用しましょう。キーワード検索できるので、必要なアプリをすばやく見つけることができます。

Microsoft Store からアプリを探す

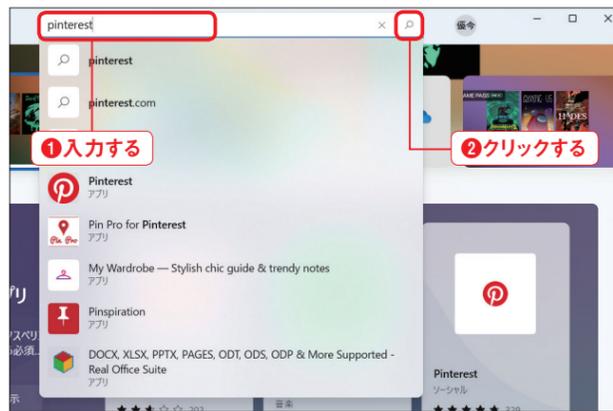
1 Microsoft Store を起動する

タスクバーで をクリックします。



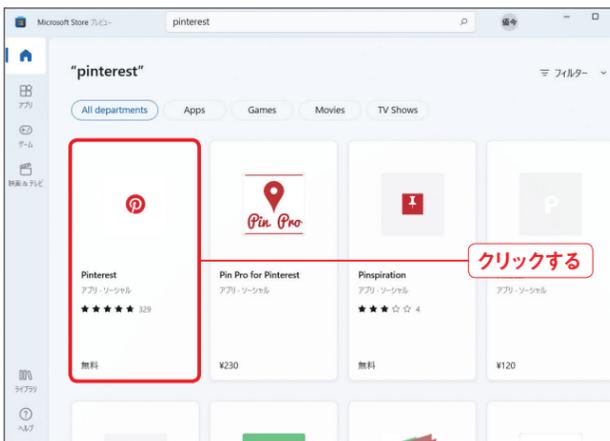
2 キーワードを入力する

<Microsoft Store>アプリが起動したら、上部の検索欄をクリックしてキーワードを入力し をクリックします 。



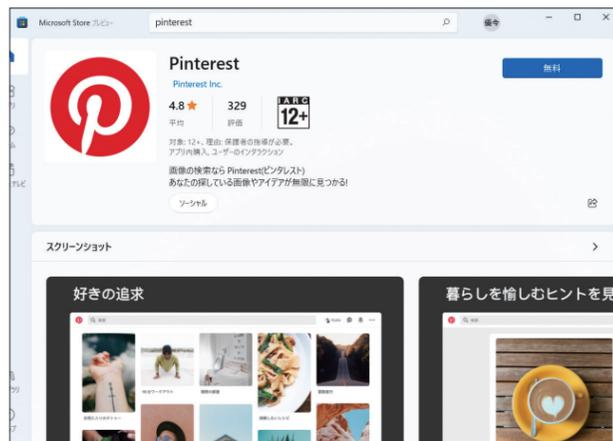
3 検索結果が表示される

キーワードに関連するアプリが一覧表示されます。アプリを選んでクリックします。



4 詳細が表示される

クリックしたアプリの詳細が表示されます。



Microsoft Store からアプリをインストールする

1 <無料>をクリックする

P.060手順 の画面で<無料>をクリックすると、アプリがインストールされます。なお、有料アプリの場合は価格をクリックし、Microsoftアカウントでサインインして進みます。



2 アプリが追加される

スタートメニューを開き、<すべてのアプリ>をクリックすると、アプリが追加されていることを確認できます。クリックして起動できます。



Microsoft Store のアプリをアンインストールする

1 スタートメニューを開く

タスクバーの をクリックするか、 キーを押してスタートメニューを開きます。



2 アプリを右クリックする

<すべてのアプリ>をクリックし、アンインストールしたいアプリを右クリックします。



3 アンインストールする

<アンインストール>をクリックします。



4 アンインストールが完了する

<アンインストール>をクリックすると、アンインストールが完了します。





移行できるデータについて 知ろう

Windows 11

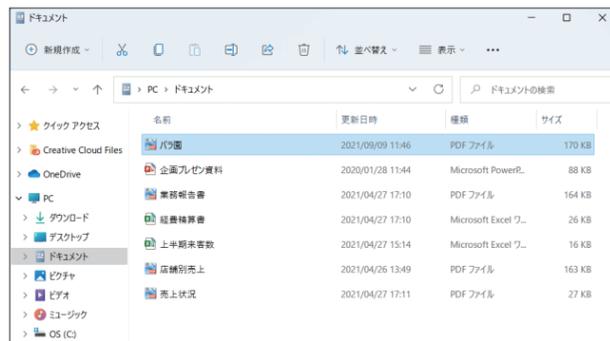
データ移行

Windows 10で使っていたファイルやメールのデータ、Webブラウザのお気に入りなどをWindows 11でも引き継ぎたいときは、USBメモリなどのUSB機器を利用してデータを移行しましょう。ここでは、移行できるデータについて紹介します。

移行できるデータ

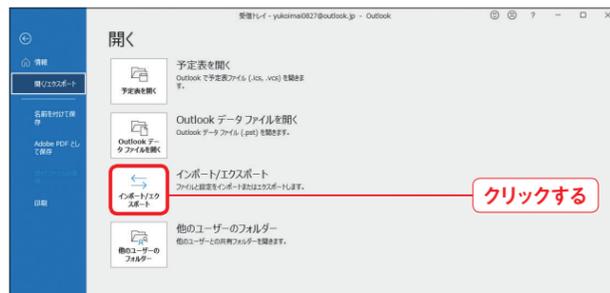
ファイルや写真

ファイルや写真は、USBメモリや外付けHDD / SSDなどのUSB機器を利用して移行することができます (P.080 ~ 087参照)。エクスプローラーを使ってあらかじめバックアップを取っておくとよいでしょう。また、ミュージックやビデオ、デスクトップ上に保存されているデータなども移行することができます。



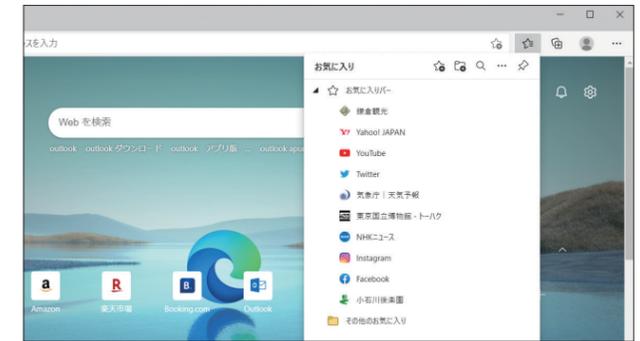
Outlookのメールや連絡先

Windows 10のOutlookからWindows 11のOutlookにデータを移行することができます。<ファイル>→<開く / エクスポート>→<インポート / エクスポート>の順にクリックし、画面の指示に従ってエクスポートしたら、同様の手順でインポートしましょう。連絡先情報などもインポートできるので、一から登録し直す手間もかかりません。



Microsoft Edgeのお気に入り

Microsoft Edgeの「お気に入り」も移行することができます (P.088 ~ 090参照)。新しいMicrosoft Edgeの場合、同じアカウントでサインインすれば、Windows 10で使用していた状態をインターネット経由で引き継ぐことができます。



Microsoft IMEのユーザー辞書

Microsoft IMEのユーザー辞書も「Microsoft IMEユーザー辞書ツール」を使うことでWindows 11に移行することができます。画面右下の「あ」または「A」を右クリックし、<設定>→<学習と辞書>→<ユーザー辞書ツールを開く>の順にクリックしたら、<ツール>→<一覧の出力>の順にクリックして、任意の場所に保存しましょう。



Windows 11でも同様の手順で「Microsoft IMEユーザー辞書ツール」を表示します。<ツール>→<テキストファイルからの登録>の順にクリックし、エクスポートしたファイルを開くと、登録した単語がインポートされます。



COLUMN

移行できないデータもある

Windows 10から移行できないデータもあります。たとえば、<メール>アプリにはエクスポート / インポート機能がありません。ただし、Outlook.comのメールの場合データはサーバーにあるので、あらかじめ同期機能を有効にしていれば、同じMicrosoftアカウントでサインインしたときに、Windows 10でやり取りしていたメールのほか、カレンダーや連絡先などのデータを引き継ぐことができます。

<メール>アプリを起動し、<アカウント>をクリックして、「アカウントの管理」から同期機能を設定したいアカウントをクリックします。<メールボックスの同期の設定を変更>をクリックすると右の画面が表示されるので、「同期オプション」から同期したい項目をオンにしておきましょう。





Windows 11の初期設定をしよう

初期設定

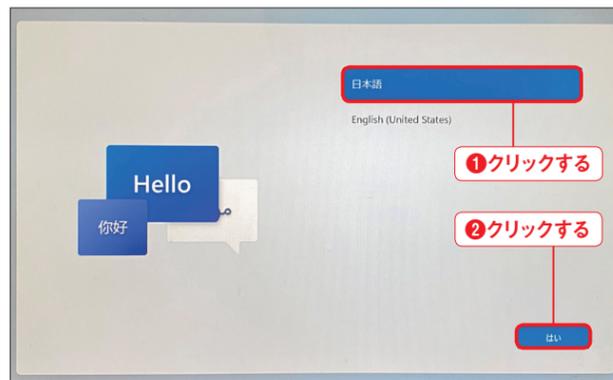
Windows 11

Windows 11のパソコンを購入したときや、パソコンをリセットしたときは初期設定が必要です。ここでは、Windows 11の初期設定の手順を解説します。なお、使用環境によっては初期設定画面が異なる場合がありますので、その場合は画面の指示に従って設定しましょう。

Windows 11の初期設定を行う

1 言語を選択する

Windows 11を初めて起動すると、言語を選択する画面が表示されます。言語（ここでは<日本語>）をクリックし①、<はい>をクリックします②。



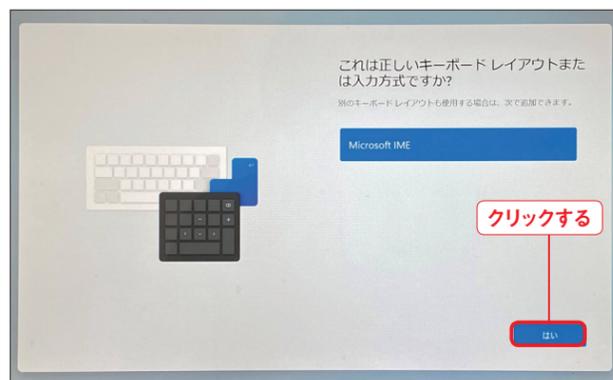
2 居住地域を選択する

「国または地域はこれよろしいですか?」画面が表示されるので、<日本>をクリックし①、<はい>をクリックします②。



3 キーボードレイアウトを選択する

「これは正しいキーボードレイアウトまたは入力方式ですか?」画面が表示されるので、<はい>をクリックし、キーボードレイアウトを追加する画面では<スキップ>をクリックします。



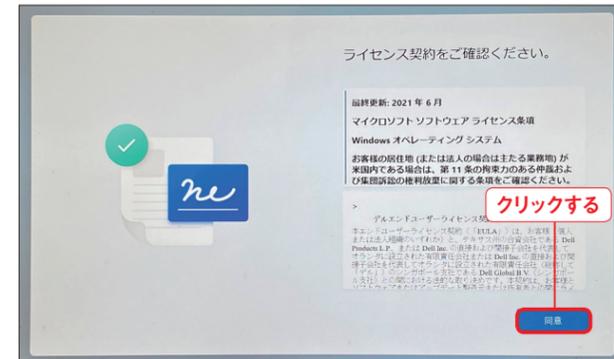
4 ネットワークを選択する

無線LANで接続する場合は「ネットワークに接続しましょう」画面で接続したいネットワークをクリックし①、<接続>をクリックします②。次の画面でパスワードを入力し、<次へ>→<次へ>の順にクリックします。



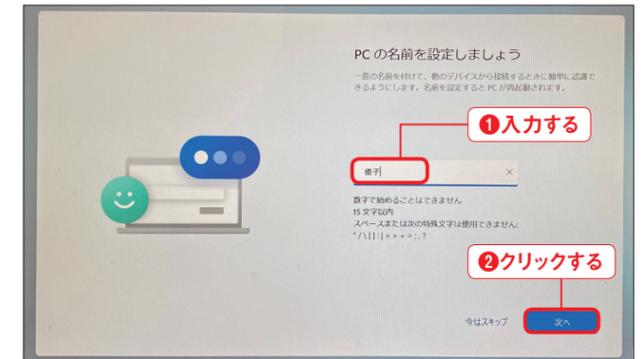
5 ライセンス契約を確認する

「ライセンス契約をご確認ください。」画面が表示された場合はライセンス契約の内容を確認し、<同意>をクリックします。



6 パソコンの名前を設定する

「PCの名前を設定しましょう」画面でパソコンの名前を入力し①、<次へ>をクリックすると②、パソコンが再起動します。



7 Microsoft アカウントを設定する

「Microsoftアカウントを追加しましょう」画面でMicrosoftアカウントのメールアドレスを入力し①、<次へ>をクリックしたら②、次の画面でパスワードを入力して<サインイン>をクリックします。



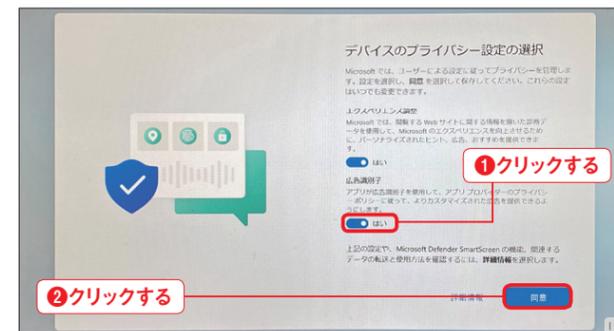
8 PINを作成する

「PINを作成します」画面で<PINの作成>をクリックします。次の画面で4桁の数字を2回入力し、<OK>をクリックします。



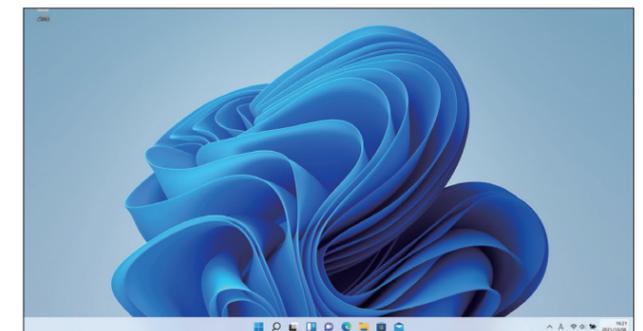
9 プライバシーを設定する

「デバイスのプライバシー設定の選択」画面で<次へ>を何回かクリックし、それぞれの項目を変更する場合は<オフ>をクリックして設定をオフにします①。設定後、<同意>をクリックします②。



10 初期設定が完了する

画面の指示に従って初期設定を完了すると、デスクトップ画面が表示されます。





Microsoftアカウントを設定しよう

ローカルアカウント

Microsoftアカウント

「Microsoftアカウント」は、ユーザーがマイクロソフトの各種サービスを利用するための個人認証アカウントです。Microsoftアカウントを新しく作成する場合は、メールアドレスが同時に取得されて、メールアドレス名がそのままMicrosoftアカウント名になります。

Microsoft アカウントを設定する

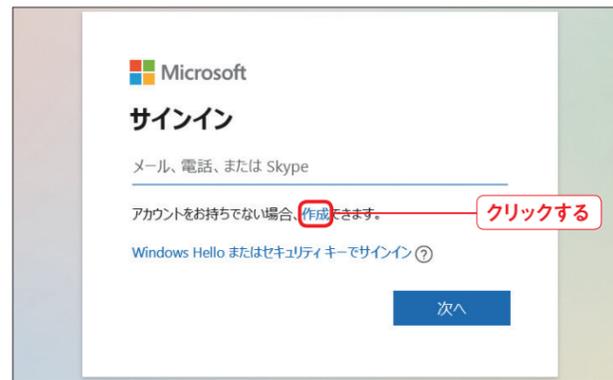
1 Microsoft アカウントを設定する

P.062を参考に「設定」画面を表示し、<アカウント>をクリックして①、<Microsoftアカウントでのサインインに切り替える>をクリックします②。



2 Microsoft アカウントを作成する

<作成>をクリックします。なお、すでにMicrosoftアカウントを取得している場合は、Microsoftアカウントを入力し、<次へ>をクリックして、パスワードを入力してサインインします。



3 メールアドレスを取得する

<新しいメールアドレスを取得>をクリックします。なお、手持ちのメールアドレスをアカウント名として使用したい場合は、メールアドレスを入力し、<次へ>をクリックします。



4 新しいメールアドレスを入力する

取得したい任意のメールアドレスを入力し①、<次へ>をクリックします②。



5 パスワードを入力する

パスワードを入力し①、Microsoftからのメール受信を希望する場合はクリックしてチェックを付け②、<次へ>をクリックします③。



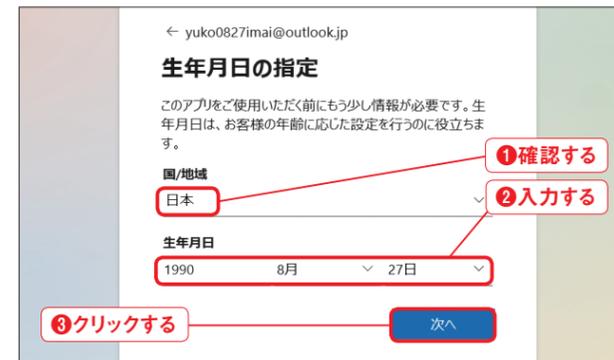
6 名前を入力する

「姓」と「名」に自分の名前を入力し①、<次へ>をクリックします②。



7 生年月日を入力する

居住地域（ここでは「日本」）が正しいことを確認し①、生年月日を入力します②。<次へ>をクリックします③。



8 ローカルアカウントのパスワードを入力する

これまで使用していたローカルアカウントのパスワードを入力し①、<次へ>をクリックします②。



9 PINを設定する

<次へ>をクリックし、P.069を参考にPINを設定します。



10 Microsoft アカウントの設定が完了する

Microsoftアカウントの設定が完了するとP.094手順①の画面が表示され、Microsoftアカウントでのサインインに切り替わったことが確認できます。

